

宿泊税は以下の**3つの方向性**に基づく施策に活用します。以下は、**現段階で想定されるものを例示**したものです。

観光を取り巻く状況の変化、求められる施策は常に変化しているため、数年先の用途の可能性を狭めることなく、**柔軟に対応**できるよう、**活用する事業は毎年度検討し、決定します。**

それぞれの方向性のうち、「移動利便性の向上」「アドベンチャートラベル(AT)、高付加価値化の推進」「観光産業を担う人材育成及び確保」の3点については、**当面の間、重点的に**取り組みます。

## 用途① 受入環境の充実

### ○【重点】移動利便性の向上



■実態調査・データ分析、キャッシュ化、多言語化 等

### ○宿泊施設等の受入環境整備支援

・宿泊施設等の環境整備への支援



■キャッシュレスの導入支援 ■バリアフリー化の支援

### ○地域におけるおもてなし力の向上

・観光案内機能の充実（外国人旅行者対応等）



■案内看板のリニューアル・多言語化 ■観光案内機能の充実

### ○観光施設、文化・スポーツ施設の魅力づくり

・施設の利便性向上（施設・備品の整備 等）

## 用途② 地域資源の磨き上げと魅力向上

### ○【重点】アドベンチャートラベル(AT)の推進

・AT専門人材の配置等



■ATツアー誘致・受入  
（高付加価値旅行）



■AT専門人材の確保  
（外国人旅行者対応）

### ○釧路川リバーサイドや阿寒湖温泉等の滞在型まちなか観光の推進

・滞在日数を高める「まちなか」の整備 など



■まち歩きの魅力向上



■滞在・体験型観光の推進

### ○夜の滞在型観光の推進

・夜間景観の魅力向上、夜型コンテンツの開発



## 用途③ 持続可能な観光地づくり

### ○【重点】DMO・DMCの体制強化

・DMO・DMCの人材確保・育成 など

◀市内のDMO▶

（一社）釧路観光  
コンベンション協会

NPO法人阿寒観光協会  
まちづくり推進機構



◀市内のDMC▶  
阿寒アドベンチャーリズム  
株式会社

### ○観光業界の人材育成・確保

・ガイド人材の確保・育成 など

### ○マーケティングデータの活用と共有

### ○災害等の不測事態への備え

・一定額を基金に積立てる。  
→災害時の復旧支援や  
需要回復対策等に活用



### ○サステナブルツーリズムの推進

・観光資源の活用と保全の両立



## 用途④ その他 税導入に係る経費（徴税費用）

- ・宿泊事業者への徴収手数料等（特別徴収義務者交付金、システム導入経費の支援 など）
- ・市のシステム導入経費、人件費、事務費
- ・周知、広報に係る経費 など